



高砂市の魅力探訪

高砂知つとこ案内

優しさを求めてづけた「森はな」

高砂市ゆかりの児童文学作家・森はなの、生誕百年にあたり、彼女の伝記の〔NHK 朝ドラ〕放映採用への機運が高まっています。

森はなは、「あまたの人との出会い」「心のふれあい」「感謝」をモットーとする心優しい人で、65歳の時には、それまでの最高齢で処女作『じろはったん』が日本児童文学者協会新人賞を受賞しました。

森はなは但馬で生まれ育ちましたが、昭和11年から荒井小学校に15年、その後、伊保小学校で9年と、昭和35年まで高砂市で教員生活を送りました。

伊保小学校時代には、森はなが脚本した創作劇「お祭りに来た兄弟」「峠もお祭り」がNHK主催の近畿学校劇コンクールで、連続最優秀賞に選ばされました。

私の周辺には、森はなが教え子も多く、彼女

*いります・・・「弥増す」と書き、いよいよ多くなる。ますますはなはだしくなる。という意味があります！



じろはったんの像
(和田山図書館前)

についての思い出を聞くと、「優しい先生、叱られたことがない、褒められた。」と即座に応えます。森はなは「私は生きている限り死ぬまで勉強だと思います。」と常々話していたようです。51歳で教員を退いてから、創作活動、後輩の指導、講演と加齢にもかかわらず、いやますに冴え、エネルギーのある活動が人々に感動を残して、平成元年80歳で永眠しました。

兵庫県道德副読本（小学1、2年）には、森はな「からすのえんどう」が載っています。森はな文学の原点がここにあり、その世界に、わが子、わが孫たちを誘ってはいかがでしょうか。

（担当：歴史部会 吉田）

史跡等に石柱も設置したよ！

高砂商工会議所会館



昭和55年から高砂商工会議所会館として使用され、平成18年3月には、兵庫県の景観形成重要建造物に指定されました。（商工会議所が設置しました）



美濃部達吉氏生家跡



明治憲法下「天皇機関説」を唱えた高砂町生まれの憲法学者 美濃部達吉博士の生家跡に設置しました。

編集よもやま話

平成20年からスタートした瓦版も第5号を発行することになりました。

これまで皆様のご協力を得ながら、みなとまちづくりの実現に向けて64の短期行動計画に基づいて取り組みを行ってきました。

策定からまる5年が経過しようとしている今、取り組みについて検証・見直しを行いながら更なる推進に取り組んでいきたいと考えています。

（担当：浅原）

編集：みなとまちづくり瓦版つくり隊
発行：高砂みとまちづくり構想推進協議会

問い合わせ先

高砂市まちづくり部

高砂西港周辺再整備・みなとまちづくり担当

〒676-8501 高砂市荒町千鳥1丁目1番1号
TEL 079-442-2101(代表)
FAX 079-443-9091



高砂市のシンボル尉と姥

第5号 平成24年1月

みなとまちづくり瓦版

<http://www.geocities.jp/takasago3710machikyo/index.html>

「3710」は「みなと」と読めるね！

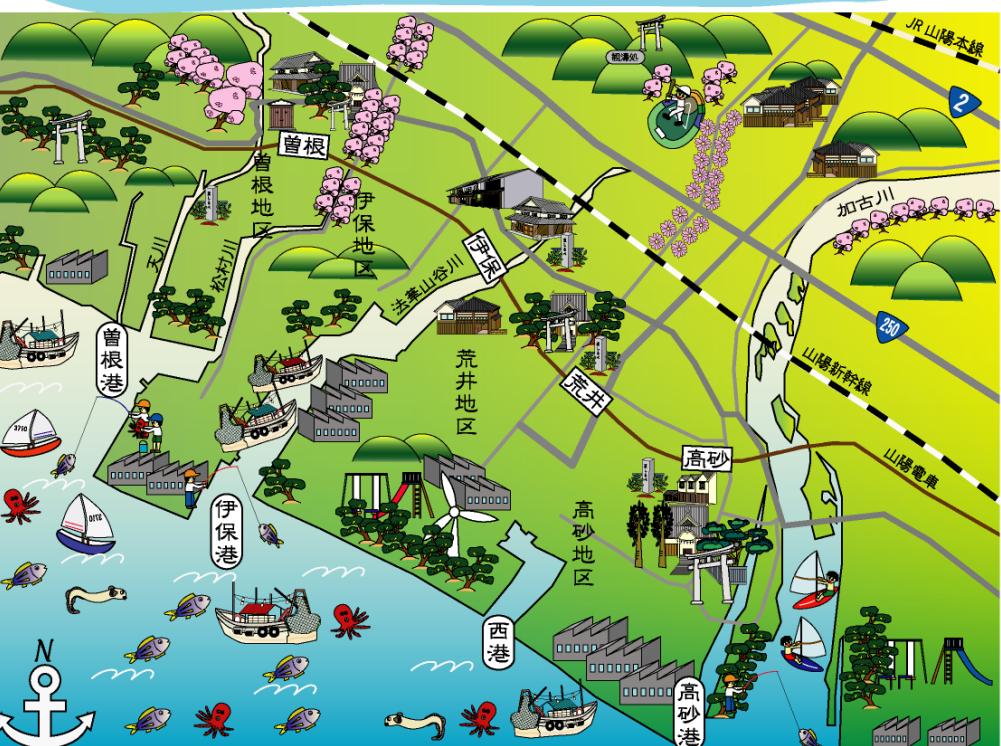
みなとまちづくり瓦版ってなあに？

高砂市の臨海部がもっと元気になるために、住民と企業と行政が一緒になって「高砂みとまちづくり構想」をつくり、様々な取り組みを行っています。

「みなとまちづくり瓦版」は、これらの高砂みとまちづくり構想の取り組み状況をお知らせするとともに、高砂市臨海部の魅力をもっと知ってもらいたいと「高砂みとまちづくり構想推進協議会」の有志が集まって作成したものです。

平成20年1月に創刊号を発行し、この度、第5号が完成しました。

是非ともご愛読いただき、高砂市臨海部の魅力を再発見し、一緒に「まちづくり」について考えていきましょう。



これまでの5年間に実施してきた取り組みを一部紹介します！

他にもたくさんの取り組みがありますので、詳細はHPをご覧ください！

<http://www.geocities.jp/takasago3710machikyo/index.html>

水辺の観察会（あらい浜風公園）



あらい浜風公園で“ホタルも住める環境づくり”に取組んでいるボランティアグループ“ビオ浜っ子”。せせらぎ水路の生物物観察やホタルの幼虫を放流して、ホタルの観察会もしています。

視察にも行きました！



高砂歴史ミュージアムづくり 歴史の継承と再現

申義堂復元（高砂）



江戸時代姫路藩の郷学として、庶民の教育を目的に高砂町北本町に創設された学問所です。明治4年に閉鎖されて解体されました。復元工事が行われました。平成24年1月14日にOPENします！

視察にも行きました！



歴史ミュージアム部会

高砂、伊保及び曾根のまちなみを視察するとともに、歴史的景観形成地区（高砂町）の史跡等の説明板について検討しました。（写真は今市地区）

たかさご万灯祭（高砂）



ウォーターフロントミュージアム部会
高砂海浜公園・向島公園、あらい浜風公園などを視察し、市街地や駅から臨海部への誘導などについて検討しました。（写真は高砂海浜公園）

古民家活用（高砂）



江戸時代に肥料問屋を営み、今も当時の趣を色濃く残している古民家（花井邸）で、高砂地区まちづくり協議会が「高砂来て民家（たかさごきてみんか）」と名付けて管理、運営しています。

古民家復元（曾根）



曾根町の旧入江家住宅は、1785年に建築された庄屋層の民家で、製塩業で栄えた当時の面影を留めています。現在は兵庫県の指定文化財になっています。

ボランティアガイド



松陽高齢者大学の「高砂歴史ガイドクラブ」が、郷土の歴史を学び、それを人々に広め、知つていただくことを目的に活動しています。

5年間の歩み

高砂みなとまちづくり 推進協議会

企
業
市
民
行
政
シンボル
NPO
の
場所

高砂ウォーターフロントミュージアムづくり 憩い・うるおい



みなさん、ご存じでしたか？
これからも、色々な取り組みを進めていきますよ！

街路樹桜花苗植栽（荒井塙市幹線道路外）



沿線自治会とNPOが協働して、マツバギクなどの花苗を植栽しています。

リフレッシュ瀬戸内（加古川河口部）



高砂海浜公園、向島公園、加古川河口部及び堀川の清掃活動を行っています。



視察にも行きました！

産業ミュージアム部会
臨海部の港湾、企業などを視察し、産業ツーリズムについて検討するとともに、みなとまちづくり瓦版で紹介しました。（写真は高砂西港）

高砂産業ミュージアムづくり にぎわい・活力

高砂子ども海洋教室（向島公園付近、高砂市沖）



小学校高学年を対象に海上から高砂市を見るとともに、干潟の生き物観察、おさかな教室、クイズなどにより高砂の海を学習しています。

漁業体験（高砂）・稚魚放流（伊保）



漁協に協力いただき、小学生による漁業体験や稚魚の放流を行っています。

千鳥橋架けかえ（荒井・伊保）



一方通行で古くなっていた二代目千鳥橋（昭和29年供用）が新しく架けかえられ、対面通行になりました。

港湾整備（高砂西港）



港湾の機能再生強化による産業の活性化をめざし、高砂西港の港湾整備（浚渫・埋立）が行われています。



ヤマモモ
(写真は中央公民館兼伊保公民館)

ヤマモモは潮風に強い常緑の高木で、近隣に雄株がないと結実しないという特徴があります。雌雄揃うことによって果実を実らせる木で、プライダル都市高砂を象徴する木といえます。常緑で潮風に強く、生命力みなぎるその様と真っ赤な果実は今後の高砂みなとまちづくりのめざす高砂市の活力向上のイメージにもつながることから、高砂みなとまちづくり構想のシンボルとして位置づけています。